

わたしの琵琶湖 わたしの淀川

READER'S MEMORIES

水辺にまつわる思い出、季節の話題など、読者のみなさんからのメッセージをこのコーナー。今回は前号のピブズ通信にお寄せいただいたお便りを紹介いたします。

ヨーロッパで知った水のありがたさ

「ピブズ通信」を楽しみにすみからすみまで読んでいます。一番に読むTOPICS、滋賀県に来て40年になりますが、まだまだ知らないことばかりだと思つて、孫のために切り抜いて保存しています。ヨーロッパ旅行で炭酸入りのコップ一杯の水が高くても飲んで飲めなかつたときに、日本の水のおいしさ、水道料の安さ、このレストランでも無料でいただけるありがたさを痛感しました。がんばってください。

角富美子(大津市)

琵琶湖のために始めます

平成4年度の琵琶湖の環境標語「琵琶湖よして30年、もとに戻すの3000年」と、児童の入选作にありますが、その通りと思います。7月1日の琵琶湖の日は各団体の動員で行なわれる湖畔清掃奉仕作業に、私も毎年自主的に参加をさせていただこうと思つています。

田中新一(長浜市)

もっと考えたい自分のできること

京都に住んで23年。毎日の生活の中で水は欠かせないもの。疏水を初めて見たとき、「これなに?」と不思議でした。子供を通していろいろ知っていくうちに、琵琶湖に甘えている私たちがこのまゝいるのは申し訳ないと思つています。お米のとき汁やお風呂の残り湯の利用、バケツを外に置き、雨水の確保をし、庭に水をまいたり、自分でできることをほんの少しですが、やっています。もっともっと考えなければ...と思つています。またいろいろ情報がほしいです。

松本保子(京都市)

水はあらゆる生物にとって大切な資源

昨今世界中では、温室効果ガスの立場からCO2を中心とした大気汚染の問題への意識が高まっています。「ピブズ通信」を読んで、水質汚染が人間に与える影響や、あらゆる生物にとって水は必要であり、かつ自然を形成する重要な要素であることを改めて考えました。また、水、環境に関係した施設がたくさんあることを知り、勉強になりました。手近なところから出かけてみたいと思つています。

藤村保夫(池田市)

暖かくなつたら出かけてみたい

初めて「ピブズ通信」を読み、とても参考になりました。バードウォッチングが趣味なので、暖かくなつたら出かけてみようと思つきました。

福嶋幸子(守山市)

白鬚の名によって結ばれた地

風光明媚なところにある白鬚神社。私の生まれた地、小浜市の「小浜白鬚」という地名はこの神社からいただいた名だぞつです。今も町内の人々が代表として1年に一度代参に来られています。いつまでも美しい水がたええられますように祈っています。

澤田チエ子(草津市)

エコロジー・ウォークをドライブしてみたい

冬号に載っていた「水のエコロジー・ウォーク」をマイカーでめぐってみたと思います。琵琶湖野鳥センター、能登川水車資料館、県立琵琶湖博物館、水生植物園、県立水環境科学館とアクア琵琶を予定しています。逆コースで回ろつかも思っています。

松井美智子(名古屋市中)

お便りを採用させていただいたみなさまには、記念品をお送りさせていただきます。

お便りを募集しています!

琵琶湖・淀川の水辺にちなんだ思い出、地域のお祭りや行事、見どころスポット、夏の話など、みなさんの投稿、大歓迎! お手紙、日記、エッセイなど形式は自由です。楽しい作品、意欲あふれる作品をお待ちしています。送り先は「ピブズ通信」わたしの琵琶湖・淀川係まで。

